薬学部 創薬科学科国際コース・薬学府 MD カリキュラム・マップ

凡例　科目区分（再掲は薄色表示）：基幹教育必修／専攻必修／専攻選択／博士課程必修科目／博士課程選択科目／博士課程必修科目／博士課程選択科目／研究指導

学修目標（学士）	学修目標（修士）	学修目標（博士）
E-2. 他者と協調して研究を実施できる基本的な技能や態度を修得している。	E-2. 共同研究に参画できる技能や態度を修得している。	E-2. 共同研究に参画できる技能や態度を修得している。
E-1. 国際的な創薬研究者として必要な基本的な研究技術を実践できる。	基幹教育（従）	E-1. 先端的な研究を遂行する上で必要な研究技術を自ら創造し、実践できる。
		D-4. 薬学研究に必要な高度な専門的な理論や方法論を理解、統合および応用できる能力を持っている。
	D-3.専門分野以外の研究分野の理論、技術、発想を取り入れた実験を展開する基礎的能力を持っている。	D-3.専門分野以外の研究分野の理論、技術、発想を取り入れた実験を展開する発展的能力を持っている。
D-2.自ら主体的に創薬研究を遂行するための基礎能力を持っている。	D-2.自ら主体的に創薬研究を遂行するための幅広い能力を持っている。	D-2.自ら主体的に創薬研究を遂行するための専門的能力を持っている。
D-1. 創薬研究に関わる課題の探究や問題を解決する基礎的な能力を持っている。	D-1. 創薬研究に関わる課題の探究や問題を解決する発展的な能力を持っている。	
C-3. 英語で科学的討論や卒業論文作成を行う能力を持っている。	C-3. 学術論文発表のノウハウを理解している。	C-3. 国際的な学術論文発表のノウハウを理解している。
C-2.将来、指導的な立場で活躍できるよう、的確で総合的な判断力と課題を探究する基礎的な能力を習得している。	C-2.将来、指導的な立場で活躍できるよう、的確で総合的な判断力と課題を探究する幅広い能力を習得している。	C-2.将来、指導的な立場で活躍できるよう、自ら的確で総合的な判断力と課題を探究できる研究推進能力を持っている。
C-1. 国際的に活躍できる基礎的な能力を持っている。	C-1. 国際的に活躍できる幅広い能力を持っている。	C-1. 国際的に活躍できる専門的な能力を持っている。
B-2. 医薬品の研究開発を推進するための基本的な知識を理解している。	B-2. 医薬品の研究開発を推進するための幅広い知識を理解している。	B-2. 医薬品の研究開発を推進するための専門的な知識を理解している。
B-1.化学系薬学、物理系薬学、生物系薬学及び医療系薬学を基盤とした基礎的な知識を理解し、論理的に思考できる。	B-1. 化学系薬学、物理系薬学、生物系薬学及び医療系薬学を基盤とした幅広い知識を理解し、論理的に思考できる。	B-1. 化学系薬学、物理系薬学、生物系薬学および医療系薬学の情報を理解し、論理的に思考できる能力を持っている。
A-4.現象や技術情報を明確に記述する基礎的な文章力と、自分の考えを明確に述べる基礎的な表現力・情報発信能力を持っている。	A-4.現象や技術情報を明確に論理的に記述する文章力と、自分の考えを明確に述べる表現力・卓越した情報発信能力を持っている。	
A-3.プレゼンテーション及び討論の基礎能力を備えている。	A-3. プレゼンテーションおよび討論する能力を持っている。	A-3. 国際的に通用するプレゼンテーション能力および討論力を持っている。
A-2. 多様な知の交流を行い、他者と協働し問題解決にあたることができる。	A-2.他分野に対する理解力、異分野交流能力・学際的視点を持っている。	A-2.自ら進んで幅広い分野に対する理解力を持ち、国際的発信力・学際的発信力を備えている。
A-1. 専門知識と豊かな教養を背景とし、自ら問題を見出し、創造的・批判的に吟味・検討することができる。	A-1.自ら進んで課題に取り組む積極性を持っている。	A-1.自ら進んで挑戦的な課題に取り組む積極性を持っている。

学修目標（学士）	学修目標（修士）	学修目標（博士）	1年生 1Q	1年生 2Q	1年生 3Q	1年生 4Q	2年生 1Q	2年生 2Q	2年生 3Q	2年生 4Q	3年生 1Q	3年生 2Q	3年生 3Q	3年生 4Q	4年生 1Q	4年生 2Q	4年生 3Q	4年生 4Q
知識・理解の実践的場面での活用（実践）	E-2. 他者と協調して研究を実施できる基本的な技能や態度を修得している。	E-2. 共同研究に参画できる技能や態度を修得している。										薬学少人数ゼミナール						
										薬学基礎実習Ⅰ＋Ⅱ	薬学基礎実習Ⅰ＋Ⅱ	薬学基礎実習Ⅲ＋Ⅳ	国際薬学特別実習・国際薬学特別研修B					
			課題協学科目				医療における倫理				社会と健康		薬務					
	E-1. 国際的な創薬研究者として必要な基本的な研究技術を実践できる。	基幹教育（従）					医薬化学系英語討論Ⅰ								医薬化学系英語討論Ⅲ			
							生物薬学系英語討論Ⅰ								生物薬学系英語討論Ⅲ			
							物理薬学系英語討論Ⅰ								物理薬学系英語討論Ⅲ			
							医療薬学系英語討論Ⅰ								医療薬学系英語討論Ⅲ			
										薬学基礎実習Ⅰ＋Ⅱ	薬学基礎実習Ⅰ＋Ⅲ＋Ⅳ	薬学基礎実習Ⅲ＋Ⅳ	国際薬学特別実習・国際薬学特別研修B					
新しい知見の創出（評価・創造）																		
		D-4. 薬学研究に必要な高度な専門的な理論や方法論を理解、統合および応用できる能力を持っている。																
	D-3.専門分野以外の研究分野の理論、技術、発想を取り入れた実験を展開する基礎的能力を持っている。	D-3.専門分野以外の研究分野の理論、技術、発想を取り入れた実験を展開する発展的能力を持っている。																
	D-2.自ら主体的に創薬研究を遂行するための基礎能力を持っている。	D-2.自ら主体的に創薬研究を遂行するための幅広い能力を持っている。	創薬科学総論Ⅰ	創薬科学総論Ⅱ	創薬科学総論Ⅲ	創薬科学総論Ⅳ						薬学少人数ゼミナール						
										薬学基礎実習Ⅰ＋Ⅱ	薬学基礎実習Ⅰ＋Ⅲ＋Ⅳ	薬学基礎実習Ⅲ＋Ⅳ	国際薬学特別実習・国際薬学特別実習B					
													物理化学演習	有機化学演習				
													構造化学演習					
	D-1. 創薬研究に関わる課題の探究や問題を解決する基礎的な能力を持っている。	D-1. 創薬研究に関わる課題の探究や問題を解決する発展的な能力を持っている。	創薬科学総論Ⅰ	創薬科学総論Ⅱ	創薬科学総論Ⅲ	創薬科学総論Ⅳ				薬学基礎実習Ⅰ＋Ⅱ	薬学基礎実習Ⅰ＋Ⅲ＋Ⅳ	薬学基礎実習Ⅲ＋Ⅳ	国際薬学特別実習・国際薬学特別実習B					
			課題協学科目					安全教育						創薬化学				
知識・理解の応用（適用・分析）	C-3. 英語で科学的討論や卒業論文作成を行う能力を持っている。	C-3. 学術論文発表のノウハウを理解している。					国際薬学特別演習A						国際薬学特別実習・国際薬学特別実習B					
							医薬化学系英語討論Ⅰ								医薬化学系英語討論Ⅲ			
							生物薬学系英語討論Ⅰ								生物薬学系英語討論Ⅲ			
							物理薬学系英語討論Ⅰ								物理薬学系英語討論Ⅲ			
							医療薬学系英語討論Ⅰ								医療薬学系英語討論Ⅲ			
										薬学基礎実習Ⅰ＋Ⅱ	薬学基礎実習Ⅰ＋Ⅲ＋Ⅳ	薬学基礎実習Ⅲ＋Ⅳ	国際薬学特別実習・国際薬学特別実習B					
	C-2.将来、指導的な立場で活躍できるよう、的確で総合的な判断力と課題を探究する基礎的な能力を習得している。	C-2.将来、指導的な立場で活躍できるよう、的確で総合的な判断力と課題を探究する幅広い能力を習得している。	課題協学科目										物理化学演習	有機化学演習				
													構造化学演習					
		C-2.将来、指導的な立場で活躍できるよう、自ら的確で総合的な判断力と課題を探究できる研究推進能力を持っている。																
	C-1. 国際的に活躍できる基礎的な能力を持っている。	C-1. 国際的に活躍できる幅広い能力を持っている。					医薬化学系英語講義Ⅰ								医薬化学系英語講義Ⅲ			
							生物薬学系英語講義Ⅰ								生物薬学系英語講義Ⅲ			
							物理薬学系英語講義Ⅰ								物理薬学系英語講義Ⅲ			
							医療薬学系英語講義Ⅰ								医療薬学系英語講義Ⅲ			
			課題協学科目					専門英語			専門英語							
			言語文化科目				言語文化科目											
知識・理解の習得（知識・理解）	B-2. 医薬品の研究開発を推進するための基本的な知識を理解している。	B-2. 医薬品の研究開発を推進するための幅広い知識を理解している。	創薬科学総論Ⅰ	創薬科学総論Ⅱ	創薬科学総論Ⅲ	創薬科学総論Ⅳ							国際薬学特別実習・国際薬学特別実習B					
										薬理Ⅰ				創薬化学				
	B-1.化学系薬学、物理系薬学、生物系薬学及び医療系薬学を基盤とした基礎的な知識を理解し、論理的に思考できる。	B-1. 化学系薬学、物理系薬学、生物系薬学及び医療系薬学を基盤とした幅広い知識を理解し、論理的に思考できる。	創薬科学総論Ⅰ	創薬科学総論Ⅱ	創薬科学総論Ⅲ	創薬科学総論Ⅳ	有機薬化学Ⅰ	有機薬化学Ⅱ	有機薬化学Ⅳ				医薬品合成化学Ⅰ	医薬品合成化学Ⅱ				
	化学系薬学	化学系薬学					基礎化学	錯体化学	有機薬化学Ⅲ	有機反応化学A	生物有機化学	医薬化学	有機反応化学B	創薬化学				
							生薬学A	生薬学B	和漢医薬学									
								天然物化学	構造解析学									
							医薬化学系英語講義Ⅰ								医薬化学系英語講義Ⅲ			
							医薬化学系英語討論Ⅰ								医薬化学系英語討論Ⅲ			
	物理系薬学	物理系薬学					物理薬学Ⅰ			物理薬学Ⅱ								
								物理薬学Ⅲ		応用機器分析学	臨床検査学Ⅰ							
										放射化学		物理薬学Ⅳ						
							物理薬学系英語講義Ⅰ								物理薬学系英語講義Ⅲ			
							物理薬学系英語討論Ⅰ								物理薬学系英語討論Ⅲ			
									生命薬学ⅢA	生命薬学ⅢB	衛生化学Ⅰ		衛生化学Ⅱ	生命薬学Ⅳ				
	生物系薬学	生物系薬学					生命薬学ⅡA	生命薬学ⅡB			システム分子生物学A	システム分子生物学B						
								分子遺伝学A	分子遺伝学B	病態微生物学			分子醫薬学A	分子醫薬学B				
							生命薬学ⅠA	免疫学A	免疫学B				生命薬学ⅠB					
							生物薬学系英語講義Ⅰ								生物薬学系英語講義Ⅲ			
							生物薬学系英語討論Ⅰ								生物薬学系英語討論Ⅲ			
	医療系薬学	医療系薬学					薬剤学Ⅰ		薬剤学Ⅱ		薬物動態学A	薬物動態学B	薬物治療学ⅡA	薬物治療学ⅡB				
								生理学		薬理学Ⅰ	薬理学Ⅱ	薬物治療学Ⅰ	臨床検査学ⅡA	臨床検査学ⅡB				
							医療薬学系英語講義Ⅰ								医療薬学系英語講義Ⅲ			
							医療薬学系英語討論Ⅰ								医療薬学系英語討論Ⅲ			
主体的な学び・協働		A-4.現象や技術情報を明確に記述する基礎的な文章力と、自分の考えを明確に述べる基礎的な表現力・情報発信能力を持っている。	A-4.現象や技術情報を明確に論理的に記述する文章力と、自分の考えを明確に述べる表現力・卓越した情報発信能力を持っている。															
	A-3.プレゼンテーション及び討論の基礎能力を備えている。	A-3. プレゼンテーションおよび討論する能力を持っている。	A-3. 国際的に通用するプレゼンテーション能力および討論力を持っている。				国際薬学特別演習A		薬学基礎実習Ⅰ＋Ⅱ	薬学基礎実習Ⅲ＋Ⅳ	薬学基礎実習Ⅰ＋Ⅲ＋Ⅳ	薬学基礎実習Ⅲ＋Ⅳ	国際薬学特別実習・国際薬学特別実習B					
			基幹教育ゼミナール						専門英語		専門英語							
	A-2. 多様な知の交流を行い、他者と協働し問題解決にあたることができる。	A-2.他分野に対する理解力、異分野交流能力・学際的視点を持っている。					国際薬学特別演習A						国際薬学特別実習・国際薬学特別実習B					
		A-2.自ら進んで幅広い分野に対する理解力を持ち、国際的発信力・学際的発信力を備えている。	課題協学科目															
			健康スポーツ科目															
	A-1. 専門知識と豊かな教養を背景とし、自ら問題を見出し、創造的・批判的に吟味・検討することができる。	A-1. 自ら進んで課題に取り組む積極性を持っている。					国際薬学特別演習A						国際薬学特別実習・国際薬学特別実習B					
		A-1.自ら進んで挑戦的な課題に取り組む積極性を持っている。	現系ディシプリン				現系ディシプリン											
			文系ディシプリン				文系ディシプリン											
			基幹教育ゼミナール															
			サイバーセキュリティー科目															
			言語文化科目				言語文化科目											

学修目標（学士）	学修目標（修士）	学修目標（博士）	M1 1Q	M1 2Q	M1 3Q	M1 4Q	M2 1Q	M2 2Q	M2 3Q	M2 4Q	最終試験	D1 前期	D1 後期	1年通年	D2 前期	D2 後期	2年通年	D3 前期	D3 後期	3年通年	最終試験
知識・理解の実践的場面での活用（実践）	E-2. 他者と協調して研究を実施できる基本的な技能や態度を修得している。	E-2. 共同研究に参画できる技能や態度を修得している。										高度融合研究演習Ⅰ			高度融合研究演習Ⅱ						
			先端研究実験Ⅰ				先端研究実験Ⅱ				博士論文提出・博士論文発表会	高度融合研究実験			高度融合研究実験			高度融合研究実験			博士論文提出・博士論文総合
	E-1. 国際的な創薬研究者として必要な基本的な研究技術を実践できる。	基幹教育（従）	連携大学院合宿 薬学系キャリアデザイン 研修 国際先端薬学実習	国際先端薬学実習			連携大学院合宿 薬学系キャリアデザイン 研修 国際先端薬学実習	国際先端薬学実習				創薬・臨床コラボ実習			創薬・臨床コラボ実習			創薬・臨床コラボ実習			
新しい知見の創出（評価・創造）		D-4. 薬学研究に必要な高度な専門的な理論や方法論を理解、統合および応用できる能力を持っている。										高度融合研究演習Ⅰ			高度融合研究演習Ⅱ						
												高度融合研究実験			高度融合研究実験			高度融合研究実験			
	D-3.専門分野以外の研究分野の理論、技術、発想を取り入れた実験を展開する基礎的能力を持っている。	D-3.専門分野以外の研究分野の理論、技術、発想を取り入れた実験を展開する発展的能力を持っている。	先端研究実験Ⅰ 医薬化学演習Ⅰ 生物薬学演習Ⅰ 物理薬学演習Ⅰ 医療薬学演習Ⅰ	医薬化学研究　生物薬学研究 物理薬学研究　医療薬学研究	医薬化学研究 生物薬学研究 物理薬学研究 医療薬学研究		先端研究実験Ⅱ 医薬化学演習Ⅱ 生物薬学演習Ⅱ 物理薬学演習Ⅱ 医療薬学演習Ⅱ	医薬科学研究　生物薬学研究 物理薬学研究　医療薬学研究	医薬化学研究 生物薬学研究 物理薬学研究 医療薬学研究												
	D-2.自ら主体的に創薬研究を遂行するための基礎能力を持っている。	D-2.自ら主体的に創薬研究を遂行するための幅広い能力を持っている。	連携大学院合宿研修　科学論文発表　英語科学討論　国際先端薬学実習		科学論文発表　英語科学討論 国際先端薬学実習		連携大学院合宿研修　科学論文発表　英語科学討論　国際先端薬学実習		科学論文発表　英語科学討論 国際先端薬学実習												
		D-2.自ら進んで幅広い分野に対する理解力を持ち、国際的発信力・学際的発信力を備えている。	創薬科学総論Ⅰ　創薬科学総論Ⅱ　創薬科学総論Ⅲ　創薬科学総論Ⅳ	医薬科学研究　生物薬学研究 物理薬学研究　医療薬学研究	医薬科学研究　生物薬学研究 物理薬学研究　医療薬学研究		医薬科学研究　生物薬学研究 物理薬学研究　医療薬学研究		医薬科学研究　生物薬学研究 物理薬学研究　医療薬学研究												
				物理薬学系教育指導実習　生物薬学系教育指導実習　医療薬学系教育指導実習		有機化学系教育指導実習　物理薬学系教育指導実習		物理薬学系教育指導実習　生物薬学系教育指導実習　医療薬学系教育指導実習		有機化学系教育指導実習　物理薬学系教育指導実習											
	D-1. 創薬研究に関わる課題の探究や問題を解決する基礎的な能力を持っている。	D-1. 創薬研究に関わる課題の探究や問題を解決する発展的な能力を持っている。	創薬科学総論Ⅰ　創薬科学総論Ⅱ　創薬科学総論Ⅲ　創薬科学総論Ⅳ	医薬科学研究　生物薬学研究 物理薬学研究　医療薬学研究	医薬科学研究　生物薬学研究 物理薬学研究　医療薬学研究		医薬科学研究　生物薬学研究 物理薬学研究　医療薬学研究		医薬科学研究　生物薬学研究 物理薬学研究　医療薬学研究												
			課題協学科目	物理薬学系教育指導実習　生物薬学系教育指導実習　医療薬学系教育指導実習		有機化学系教育指導実習　物理薬学系教育指導実習		物理薬学系教育指導実習　生物薬学系教育指導実習　医療薬学系教育指導実習		有機化学系教育指導実習　物理薬学系教育指導実習											
知識・理解の応用（適用・分析）	C-3. 英語で科学的討論や卒業論文作成を行う能力を持っている。	C-3. 学術論文発表のノウハウを理解している。																			
				医薬科学研究　生物薬学研究 物理薬学研究　医療薬学研究	医薬科学研究　生物薬学研究 物理薬学研究　医療薬学研究		医薬科学研究　生物薬学研究 物理薬学研究　医療薬学研究		医薬科学研究　生物薬学研究 物理薬学研究　医療薬学研究												
			生物薬学研究技術実習		生物薬学研究技術実習		生物薬学研究技術実習		生物薬学研究技術実習												
	C-2.将来、指導的な立場で活躍できるよう、的確で総合的な判断力と課題を探究する基礎的な能力を習得している。	C-2.将来、指導的な立場で活躍できるよう、的確で総合的な判断力と課題を探究する幅広い能力を習得している。																			
		C-2.将来、指導的な立場で活躍できるよう、自ら的確で総合的な判断力と課題を探究できる研究推進能力を持っている。																			
	C-1. 国際的に活躍できる基礎的な能力を持っている。	C-1. 国際的に活躍できる幅広い能力を持っている。																			
		C-1. 国際的に活躍できる専門的な能力を持っている。																			
知識・理解の習得（知識・理解）	B-2. 医薬品の研究開発を推進するための基本的な知識を理解している。	B-2. 医薬品の研究開発を推進するための幅広い知識を理解している。																			
		B-2. 医薬品の研究開発を推進するための専門的な知識を理解している。																			
	B-1.化学系薬学、物理系薬学、生物系薬学及び医療系薬学を基盤とした基礎的な知識を理解し、論理的に思考できる。	B-1. 化学系薬学、物理系薬学、生物系薬学及び医療系薬学を基盤とした幅広い知識を理解し、論理的に思考できる。	薬学総論Ⅰ 薬剤・動態学 薬物送達システム学 物理化学的測定法 細胞機製システム論 大学院有機化学 天然資源学 染色体生物学とそのがん研究への応用		薬理・基礎理論 タンパク質創薬論 細胞内タンパク質輸送システム論		薬学総論Ⅰ 薬剤・動態学 薬物送達システム学 物理化学的測定法 機能性分子の設計と機器分析 細胞機製システム論 大学院有機化学 最先端創薬研究論 天然資源学 染色体生物学とそのがん研究への応用		薬学総論Ⅱ 薬理・疾患治療 タンパク質創薬論 細胞内タンパク質輸送システム論			学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科目	学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科目		学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科目	学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科目		学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科目	学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科目		
	化学系薬学	化学系薬学																			
	物理系薬学	物理系薬学																			
	生物系薬学	生物系薬学																			
	医療系薬学	医療系薬学																			
主体的な学び・協働		A-4.現象や技術情報を明確に記述する基礎的な文章力と、自分の考えを明確に述べる基礎的な表現力・情報発信能力を持っている。		医薬化学研究 生物薬学研究 物理薬学研究 医療薬学研究	医薬化学研究 生物薬学研究 物理薬学研究 医療薬学	生物薬学系教育指導実習 医療薬学系教育指導実習 物理薬学系教育指導実習	医薬化学研究 生物薬学研究 物理薬学研究 医療薬学	有機化学系教育指導実習 物理薬学系教育指導実習	医薬化学研究 生物薬学研究 物理薬学研究 医療薬学	生物薬学系教育指導実習 医療薬学系教育実習		先端研究指導実習			先端インターンシップ実習			先端科学論文発表			
	A-3.プレゼンテーション及び討論の基礎能力を備えている。	A-3. プレゼンテーションおよび討論する能力を持っている。										学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科目	学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科目		学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科目	学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科目		学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科目	学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科目		
	A-2. 多様な知の交流を行い、他者と協働し問題解決にあたることができる。	A-2.他分野に対する理解力、異分野交流能力・学際的視点を持っている。																			
		A-2.自ら進んで幅広い分野に対する理解力を持ち、国際的発信力・学際的発信力を備えている。																			
	A-1. 専門知識と豊かな教養を背景とし、自ら問題を見出し、創造的・批判的に吟味・検討することができる。	A-1. 自ら進んで課題に取り組む積極性を持っている。																			
		A-1.自ら進んで挑戦的な課題に取り組む積極性を持っている。																			

学修目標（学士）	学修目標（修士）	学修目標（博士）	1年生 1Q	1年生 2Q	1年生 3Q	1年生 4Q	2年生 1Q	2年生 2Q	2年生 3Q	2年生 4Q	3年生 1Q	3年生 2Q	3年生 3Q	3年生 4Q	4年生 1Q	4年生 2Q	4年生 3Q	4年生 4Q
学年			1年生				2年生				3年生				4年生			
学士課程の時期区分			「導入・基礎」期						「発展」期				「統合」期					
アセスメント計画			基礎科目の習得度を成績分布や授業アンケートを通じて確認する。						基点科目の知識・能力（英語力も含む）の習得度を、成績分布や授業アンケートを通じて確認する。				薬学特別実習等を、学修目標達成度評価表に基づいて審査する。					

学修目標（学士）	学修目標（修士）	学修目標（博士）	M1 前期	M1 後期	M2 前期	M2 後期	最終試験	D1 前期	D1 後期	1年通年	D2 前期	D2 後期	2年通年	D3 前期	D3 後期	3年通年	最終試験
学年			M1		M2			D1			D2			D3			
学士課程の時期区分																	
アセスメント計画			修士論文の審査の中で、学修目標達成度評価表に基づいて審査する。					博士論文の審査の中で、学修目標達成度評価表に基づいて審査する。									